

参考資料 県や関係団体等の取組一覧

「Ⅲ 主な取組の状況」で紹介した取組を含め、プランで位置づけた県や関係団体等の取組については、次のとおりです。

1 食を通じて健康な体をつくるために


(1) バランスのとれた食生活の推進

取組内容	実施主体
○ 「食生活指針」や「食事バランスガイド」の活用促進	
<ul style="list-style-type: none"> ・「メタボ脱出！ハンドブック」作成・配布(9,000部 各保健所で配布) 〔食事バランスガイドの活用等〕 ・「メタボリックシンドローム対策地域講演会」開催(各保健所) ・「食事バランスガイド」啓発クリアファイルの作成・配布 配布先：市町村、関係団体等(5,000枚) ・食生活指針、食事バランスガイドを会員に配布 ・研修会開催(19.8.7 美浜町) 参加者(32名) 〔内容：「食事バランスガイドの実践に向けて」〕 ・生活習慣病対策関連研修会開催(19.5～12) 5回 参加者(約600人) 〔講義「食事バランスガイドの活用について」〕 ・「食事バランス日記」作成・配布 配布先：あいち健康プラザで実施の教室・研修会等で使用 来館者に配布 (計20,000部) ・栄養相談コーナーの開設(毎月第2・4土曜 名古屋栄オアシス 21「エコファーマーズ朝市村」) [P.7参照] ・第2回 8020 健口フェスティバル開催(19.11.11 愛知県歯科医師会館) 参加者：一般県民(約1,000名) [P.11参照] ・第1回 8020 あいちプロジェクト事業実施(19.11.10 安城市 始め2回) 参加者：一般県民(約350名) ・「食事バランスガイド」ポスターの掲示及びリーフレット・チェックリストの配布 〔6月の食育月間を中心に各店舗店頭で〕 ・「食事バランスガイド」に基づく栄養相談の実施(19.10～19.11 加 	<ul style="list-style-type: none"> 【健康福祉部】 【健康福祉部】 【農林水産部】 【愛知県食品産業協議会】 【愛知消費者協会】 【愛知県健康づくり振興事業団】 【愛知県健康づくり振興事業団】 【愛知県栄養士会】 【愛知県歯科医師会】 【愛知県歯科医師会・健康福祉部】 【日本チェーンストア協会 中部支部】 【日本チェーンストア協会



<p>盟企業店頭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食事バランスガイド」啓発イベント開催(19.10～19.11 加盟企業店頭) ・社員食堂メニューへの食事バランスガイド表示(19.10～19.11 加盟企業) 	<p>中部支部】</p> <p>【日本チェーンストア協会 中部支部】</p> <p>【日本チェーンストア協会 中部支部】</p>
<p>○「妊産婦のための食生活指針」の普及推進</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健指導者研修会実施(19.8.23 名古屋市) 参加者：行政・学校・医療等の保健師、助産師、養護教諭等母子保健に従事する者(143名) 〔講演「周産期からみた食育」 ～妊娠期からの子どもの疾病予防に対する食育の役割～〕 	<p>【健康福祉部】</p>
<p>○ 日本型食生活の良さの啓発</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・日本型食生活の良さを啓発する愛知県食育推進ボランティアの活動を支援しました。 〔ボランティア登録者(437名)〕 ・食のゼミナール開催(19.7.10 名古屋市 始め2回) 参加者(213名) 〔内容：「大豆蛋白」、「こんにやくゼミナール」〕 ・学校給食教室開催(19.11.7・8・15・16 愛知県学校給食総合センター) 〔P.8参照〕 	<p>【農林水産部】</p> <p>【愛知消費者協会】</p> <p>【愛知県学校給食会】</p>
<p>○ 外食等における“ヘルシーメニュー”の提供促進</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・社員食堂などの給食供給施設へバランスのとれた食事や献立の提案を実施 	<p>【健康福祉部】</p>
<p>○「早寝 早起き 朝ごはん」運動の普及啓発</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ番組「あいっ子」放送(13回シリーズ) 〔P.9参照〕 ・「季節の我が家の朝ごはんカレンダー」作成・配布 配布先：各小学校(カレンダー・CD 8,200部) 〔献立募集(19.5.21～19.7.20 応募数 3,951件)、優秀作品表彰(20.1.27)〕 ・講演会、保護者会等で「早寝 早起き 朝ごはん」の大切さを繰り返し伝えている。 〔「ぱくぱく教室」(豊田市) など〕 ・各種の会議や研修会の機会を利用して「早寝・早起き・朝ごはん」運動に触れ、会員(家庭)への啓発を行っている。 ・早寝・早起き・朝ご飯教室開催(19.6.7～8 愛知県青年の家)(西尾市立西尾小学校4年生) 〔内容：健康タイム、みそ汁コンテスト、早寝 早起き 朝ご飯の 	<p>【教育委員会】</p> <p>【教育委員会・農林水産部】</p> <p>【愛知県国公立幼稚園長会】</p> <p>【愛知県小中学校PTA連絡協議会】</p> <p>【愛知県小中学校長会】</p>

<p>歌・ダンス] 〔朝ご飯の歌・ダンスは運動会等で披露〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事・睡眠・運動の大切さを解説した健康教育講演の開催（101件） 〔健康科学館を利用する小中学生への講演、各学校の学校保健委員会への講師派遣〕 <p>参加者：15,244名（小学校78件12,107名中学校23件3,137名）</p>	<p>【愛知県健康づくり振興事業団】</p>
<p>○ PTA活動による家庭への普及啓発</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・各地域のPTAが開催する食育に関する研修会等へ愛知県食育推進ボランティアの派遣を行っている。 ・就学時検診・入学式・PTA研修会等で食育講演会を開催している。 ・保健所栄養士による講習会を開催している。 〔家庭で簡単に作れる料理、おやつの紹介、食材の食べ比べなど〕 ・PTAによる栽培活動を実施している。 ・厚生給食委員会の活動を通じて米飯給食を含めた学校給食の向上や食生活における家庭と学校との連携を図っている。 ・単位PTA（各地域のPTA）では、学校と連携して生活リズムの確立に取り組み、会員の意識啓発を行っている。 〔活動例：シャキッとモーニング、親子で作る朝ごはん など〕 ・食事・睡眠・運動の大切さを解説した健康教育講演の開催（101件） 〔健康科学館を利用する小中学生への講演、各学校の学校保健委員会への講師派遣〕 <p>参加者：15,244名（小学校78件12,107名中学校23件3,137名） 〔再掲〕</p>	<p>【農林水産部】</p> <p>【愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会】</p> <p>【愛知県国公立幼稚園長会】</p> <p>【愛知県国公立幼稚園長会】</p> <p>【愛知県小中学校PTA連絡協議会】</p> <p>【愛知県小中学校PTA連絡協議会】</p> <p>【愛知県健康づくり振興事業団】</p>
<p>○ 子どもの食生活についての指導の充実</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「食に関する指導者養成講座」開催（19.8.8） 対象：小中学教諭 ・食への関心を持たせるための絵本の読み聞かせや紙芝居を行っている。 ・保護者へ食の大切さを啓発するための弁当参観を実施している。 ・食に関する授業の実施（弥富市立弥富北中学校1年生） 〔「朝食を食べよう・朝食の働きを知ろう」 指導計画（7時間） 第1時 朝ごはんを食べよう〕 	<p>【教育委員会】</p> <p>【愛知県立国公立園長会】</p> <p>【愛知県立国公立園長会】</p> <p>【愛知県小中学校長会】</p>

<p>第2時 消化・吸収のしくみを理解しよう 第3時 朝食と脳の働きとの関連を知ろう 第4時 望ましい朝食を考えよう 第5時 朝食の重要性、必要性を確認しよう 第6時 調理員さんの仕事や願いを知ろう 第7時 食品衛生監視員さんのお話を聞こう</p> <p>・食事・睡眠・運動の大切さを解説した健康教育講演の開催（101件） 〔健康科学館を利用する小中学生への講演、各学校の学校保健委員会への講師派遣〕 参加者：15,244名（小学校78件12,107名中学校23件3,137名） 〔再掲〕</p> <p>・「炎の健康料理人」展開催（19.9.15～12.2 あいち健康プラザ健康科学館） 〔体験型の展示物を通して食に対するの興味を持たせながら、子どもの肥満防止や食生活と歯の大切さについて啓発〕 入場者：19,222人</p> <p>・地元農林水産物を活用した親子料理教室実施（19.7.22 三好町 始め7か所） 参加者：小学生とその保護者（85組202名）〔P.37参照〕</p>	 <p>OH!からだの中はこんな風!?</p>	<p>【愛知県健康づくり振興事業団】</p> <p>【愛知県健康づくり振興事業団】</p> <p>【愛知県栄養士会・農林水産部】</p>
<p>○ 給食を活用した食に関する指導の充実</p>		
<p>・小中学校では、給食時間を利用した学校栄養職員等による巡回指導や食事に関する事前アンケートを基にした指導など各学校で工夫を凝らした取組を実施</p> <p>・特別支援学校では毎月「給食だより」を発行するほか、12月～1月の一週間を「給食週間」としたり、1月～2月の数日を「給食感謝の集い」として設定するなどして、栄養や調理の仕事への理解を深める指導を行っている。</p> <p>・「新任給食主任者講習会」開催（19.5.11 愛知県総合教育センター） 対象：各市町村立学校の新任給食主任（教諭）</p> <p>・給食時間を使って食の指導を実施</p> <p>・給食試食会を実施している。</p> <p>・子どもが食べたがらない食材等について給食献立の工夫を行っている（ひじき、わかめ、煮物等）。</p> <p>・学校関係者のための食育支援ガイド作成（19.12） 配布先：行政関係、関係団体等（4,000部）</p>	<p>【教育委員会】</p> <p>【教育委員会】</p> <p>【教育委員会】</p> <p>【愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会】</p> <p>【愛知県立国公立園長会】</p> <p>【愛知県立国公立園長会】</p> <p>【愛知県歯科医師会】</p>	
<p>○ 保育所における子育て家庭からの相談への対応</p>		
<p>・現任保育士指導者養成研修で食育に関する講座を実施</p>	<p>【健康福祉部】</p>	

<p>○ 栄養教諭等による「家庭における食育」の普及啓発</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭配置校の連絡協議会開催 [食に関する保護者の理解度や意識等についての検証と効果的な啓発方法についての情報交換や協議] [保護者の意識の変化： 食に関して興味・関心が高まった 53% → 88% 旬の食材を選ぶ 66% → 85% など] ・「食育だより」の発行や親子料理教室、給食試食会、入学式での食育講演などを実施している。 	<p>【教育委員会】</p> <p>【愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地元農林水産物を活用した親子料理教室実施(19. 7. 22 三好町 始め7か所) 参加者：小学生とその保護者(85組 202名) [P. 37 参照] 	<p>【愛知県栄養士会・農林水産部】</p>


(2) 生活習慣病等の予防対策

取組内容	実施主体
<p>○ 子どもの肥満予防等の推進</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校では、主に養護教諭を中心に、給食後の歯みがきの実施、長期休業中の生活リズムの自己点検、全校一斉運動など各学校で工夫を凝らした取組を実施している。 	<p>【教育委員会】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の保健体育科「健康な生活と病気の予防」で食生活と生活習慣病のかかわりについて指導している。 	<p>【教育委員会】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・肥満傾向にある生徒に対して家庭との協力も図りながら個別指導を行っている。 	<p>【教育委員会】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校では、保護者向けに啓発資料を配布したり、個別指導などを行っている。 	<p>【教育委員会】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・園児の体重の変化（2か月に1回、または学期に1回測定）を記録し、体重の増加が著しい場合は、保護者と家庭での食事のあり方について話し合っている。 	<p>【愛知県国公立幼稚園長会】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の心配のある児童の個別指導実施(西尾市立寺津小学校4年生) 対象者：血液検査や食事調査の結果問題のある児童や肥満または痩身の児童 [血液検査(19. 11. 12)、家庭食事調査(19. 11 土日の2日間)、保護者・養護教諭・栄養教諭による個別相談会(19. 12)] 	<p>【愛知県小中学校長会】</p>



<ul style="list-style-type: none"> ・食事・睡眠・運動の大切さを解説した健康教育講演の開催（101件） 〔健康科学館を利用する小中学生への講演、各学校の学校保健委員会への講師派遣〕 参加者：15,244名（小学校78件12,107名中学校23件3,137名） 〔再掲〕 ・「炎の健康料理人」展開催（19.9.15～12.2 あいち健康プラザ健康科学館） 〔体験型の展示物を通して食に対する興味を持たせながら、子どもの肥満防止や食生活と歯の大切さについて啓発〕 入場者：19,222人 〔再掲〕 ・学校関係者のための食育支援ガイド作成（19.12）〔再掲〕 配布先：行政関係、関係団体等（4,000部） 	<p>【愛知県健康づくり振興事業団】</p> <p>【愛知県健康づくり振興事業団】</p> <p>【愛知県歯科医師会】</p>
<p>○ 歯の大切さについての啓発活動の推進</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯予防や歯周病対策の啓発活動実施（各保健所） 〔養護教諭や保育士・幼稚園教諭等を対象とした研修会、ライフステージに沿った啓発活動、指導者の養成等〕 ・第一大臼歯の大切さを啓発するリーフレット作成・配布 配布先：小学1年生 ・歯科医による歯の大切さの指導、歯科衛生士による歯磨き指導、弁当・給食後の歯磨き指導を実施している。 ・歯の衛生講話開催（19.6.19）（安城市立東山中学校1年生） 〔歯科校医の講話と歯科衛生士の歯に関する指導〕 ・歯科校医、歯科衛生士による歯磨き個別指導（19.12.11）（安城市立東山中学校） 対象者：1～3年生34名 〔歯科検診で歯石・歯垢・歯周病等があり、歯磨き指導が必要な生徒〕 ・食事・睡眠・運動の大切さを解説した健康教育講演の開催（101件） 〔健康科学館を利用する小中学生への講演、各学校の学校保健委員会への講師派遣〕 参加者：15,244名（小学校78件12,107名中学校23件3,137名） 〔再掲〕 ・「炎の健康料理人」展開催（19.9.15～12.2 あいち健康プラザ健康科学館） 〔体験型の展示物を通して食に対する興味を持たせながら、子どもの肥満防止や食生活と歯の大切さについて啓発〕 	<p>【健康福祉部】</p> <p>【健康福祉部】</p> <p>【愛知県国公立幼稚園長会】</p> <p>【愛知県小中学校長会】</p> <p>【愛知県小中学校長会】</p> <p>【愛知県健康づくり振興事業団】</p> <p>【愛知県健康づくり振興事業団】</p>



<p>入場者：19,222人〔再掲〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回 8020 健口フェスティバル開催(19.11.11 愛知県歯科医師会館) 参加者：一般県民(約1,000名)〔P.11参照〕 ・第1回 8020 あいちプロジェクト事業実施(19.11.10 安城市 始め2回) 参加者：一般県民(約350名)〔再掲〕 ・学校関係者のための食育支援ガイド作成(19.12) 配布先：行政関係、関係団体等(4,000部)〔再掲〕 	<p>【愛知県歯科医師会】</p> <p>【愛知県歯科医師会・健康福祉部】</p> <p>【愛知県歯科医師会】</p>
<p>○ 職場での健康診断等に基づく食生活改善の推進</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「メタボ脱出！ハンドブック」作成・配布(9,000部 各保健所で配布) 〔食事バランスガイドの活用等〕〔再掲〕 ・「メタボリックシンドローム対策地域講演会」開催(各保健所)〔再掲〕 ・食事体験型教室開催(19.10～19.11)計6回 参加者：企業職員(延べ108名)〔P.12参照〕 ・産業保健活動の一環としてバランスのよい食事等について講演会を実施している。 	<p>【健康福祉部】</p> <p>【健康福祉部】</p> <p>【愛知県健康づくり振興事業団】</p> <p>【愛知県医師会】</p>
<p>○ 地域における健康対策指導</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「食と農の交流フォーラム」(19.8.27～20.1.19 県内7地域)で健康体操や食事バランスチェックなどを実施 ・親子体験型ブースと栄養相談〔ふるさと農林水産フェア秋(19.10.5～7)で実施〕 〔テーマ：「あしたの朝ごはんはなににする？」〕  ・生活習慣病対策関連研修会開催(19.5～12)5回 参加者(約600人) 〔講義「食事バランスガイドの活用について」〕〔再掲〕 ・「食事バランス日記」作成・配布 配布先：あいち健康プラザで実施の教室・研修会等で使用 来館者に配布(計20,000部)〔再掲〕 ・栄養相談コーナーの開設(毎月第2・4土曜 名古屋栄オアシス21「エコファーマーズ朝市村」)〔P.7参照〕 ・第2回 8020 健口フェスティバル開催(19.11.11 愛知県歯科医師会館) 参加者：一般県民(約1,000名)〔P.11参照〕 	<p>【農林水産部】</p> <p>【愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会】</p> <p>【愛知県健康づくり振興事業団】</p> <p>【愛知県健康づくり振興事業団】</p> <p>【愛知県栄養士会】</p> <p>【愛知県歯科医師会】</p>


<ul style="list-style-type: none"> ・「くすりと食品の相互作用」作成・配布(19.9.27～30「なごや食フェスタ 2007」(入場者 800 名) ・「病態から見る健康食品－影響と相互作用－」第 3 版出版 配布先:「第 40 回東海薬剤師学術大会」(19.12.3 四日市市 500 部)、 愛知県薬剤師会会員(2,800 部) 	<p>【愛知県薬剤師会】</p> <p>【愛知県薬剤師会】</p>
<p>○ 健康増進効果のある農産物の開発と普及</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・機能性野菜としてアブラナ科の「セリフォン」とダイコン「辛味大根」を選定 (愛知県農業総合試験場) ・機能性成分を高めるための施肥法、栽培時期の検討 (愛知県農業総合試験場) ・機能性を損なわない加工技術の検討 (愛知県農業総合試験場、食品工業技術センター) 	<p>【農林水産部】</p> <p>【農林水産部】</p> <p>【農林水産部】</p>

(3) 食品表示の適正化や食の安全に関する普及啓発	
取組内容	実施主体
<p>○ 食品表示の適正化の推進</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活モニター設置(400 名) 〔食品表示を含む消費生活分野全般に関する監視・通報〕 ・「食の安全・安心に関するアンケート調査」実施(8 月) 対象者：消費生活モニター ・「食の安全・安心」をテーマにした懇談会開催(10 月) 参加者：消費者、関係事業者、学識者等 ・「食の安全・安心に関するアンケート調査」「食の安全・安心」をテーマにした懇談会の結果を啓発誌、Web ページに掲載 ・食品衛生法の遵守状況に重点を置いた監視指導実施(61,531 件 19.12 末現在) ・食品表示ウォッチャー配置(150 名) 〔消費者が日常の買い物行動の中で、食品表示をモニタリング〕 〔定期報告及び随時報告で不適正な表示が確認された場合、県が改善指導〕 ・食品表示ウォッチャー研修会等開催 (19.5.28 名古屋市 始め 3 回) ・事業者に対する研修会開催(11 回) 参加者(597 名) (数値修正あり) ・一般消費者を対象とした研修会開催 ・JAS 法に基づく食品表示制度啓発資料の作成・配布(20,000 部) ・食品産業トップセミナー開催(協力)(19.11.26 名古屋市) 	<p>【県民生活部】</p> <p>【県民生活部】</p> <p>【県民生活部】</p> <p>【県民生活部】</p> <p>【健康福祉部】</p> <p>【農林水産部】</p> <p>【農林水産部】</p> <p>【農林水産部】</p> <p>【農林水産部】</p> <p>【愛知県食品産業協</p>

参加者：食品事業(経営)者(400名)	議会】
○ 栄養成分表示店の指定等の推進	
・ 県が指定する外食栄養成分表示店にアンケート実施 〔現状や課題の分析〕	【健康福祉部】
・ 外食栄養成分表示店の定着促進のための活動の実施(各保健所)	【健康福祉部】
○ 食の安全に関する知識の普及	
・ 消費生活情報誌「あいち暮らしっく」発行(年10回各8万部) 配布先：市町村等	【県民生活部】
・ 食生活に関する消費生活講座へ講師派遣(9回)(19.12月末現在)	【県民生活部】
・ 講演会開催(19.10.18 一宮市) 参加者：一般県民、消費者団体	【県民生活部】
・ 食の総合相談窓口での相談受付(66件)(19.12末現在)	【健康福祉部】
・ Web ページ「食の安全・安心情報サービス」で情報提供	【健康福祉部】
・ 食の安全・安心県民交流会開催(19.8.3刈谷市 始め2回) 参加者：一般県民(延べ112名)	【健康福祉部】
・ 食の安全・安心県民講座実開催(19.7.19一宮市 始め6回) 参加者(延べ332名)	【健康福祉部】
・ 食の安全・安心地域フォーラム開催(19.7.20幸田町 始め20回) 参加者(延べ1,430名)(19.12月末現在)	【健康福祉部】
・ 食の出前講座実施(19.4.3美浜町 始め103回) 参加者(延べ4,494名)(19.12月末現在)	【健康福祉部】
・ 食品ハンドブック作成・配布 配布先：県内小学校(16,000部) 〔小学校高学年向け〕	【健康福祉部】
・ 「みんなで食育！手作り餃子教室」開催(19.8.1 産業技術研究所食品工業技術センター) 参加者：一般県民(25名) 〔「愛知の発明の日」協賛行事〕	【産業労働部】
・ 食品入門講座開催(19.6.6 始め3回 産業技術研究所食品工業技術セ ンター) 参加者：食品製造業者(延べ129名) 〔異物混入防止法、微生物変敗防止法、JAS関連表示など〕	【産業労働部】
・ 産業技術研究所研究成果発表会開催(19.10.2名古屋商工会議所) 参加者：企業等(194名) 〔DNA解析による動物毛の同定など〕	【産業労働部】
・ 技術分野別研究会開催(19.10.31 始め3回産業技術研究所食品工業	【産業労働部】



<p>技術センター) 参加者：食品企業(延べ 125 名) 〔食品腐敗微生物の同定など 4 課題〕</p> <p>・酒造講習会等開催(19. 12. 14 産業技術研究所食品工業技術センター) 参加者：酒造製造業(30 名) 〔食品工場の洗浄について〕</p> <p>・環境殺菌交流会開催(19. 8. 3 始め 5 回産業技術研究所食品工業技術センター) 参加者：企業(延べ 40 名) 〔日本の伝統行事と行事食について〕</p> <p>・Farm to Table 体験ツアー実施(19. 7. 27 豊橋市・田原市 始め 5 コース) 参加者(延べ 75 組 177 名) 〔畜産農家から流通・食卓を体験〕</p> <p>・ちくさんサイエンスカフェ実施(19. 9. 17 名古屋市 始め 5 回) 参加者(延べ 178 名) 〔喫茶を楽しみながら専門家から畜産の話を聴講〕</p> <p>・Farm to Table シンポジウム開催(19. 11. 17 豊橋市) 参加者(161 名) 〔酪農業の理解を図り生産者と消費者を近づける〕</p> <p>・園児と一緒に買い物に行き、表示を確かめたり、食品表示のニュースの話題を取り上げ、関心を持たせるなどしている。</p> <p>・会員、協力団体に対し、講演会やセミナーの開催、資料提供を行うとともに、優良企業の視察も行っている。</p> <p>・「あいち給食だより」発行 配布先：小中学校、関係機関(4, 000 部) 〔「検査室より」5 月号 学校給食用パン品質検査、 7 月号 腸管出血性大腸菌 O157 の検査、 10 月号 新しくなった「分析機器」～残留農薬編～、 1 月号 冬の食中毒 ～ノロウイルス～〕</p>	<p>【産業労働部】</p> <p>【産業労働部】</p> <p>【農林水産部】</p> <p>【農林水産部】</p> <p>【農林水産部】</p> <p>【愛知県国公立幼稚園長会】</p> <p>【愛知県食品産業協議会】</p> <p>【愛知県学校給食会】</p>
<p>○ トレーサビリティシステムの導入促進</p>	
<p>・鶏卵へのトレーサビリティシステムのモデル的導入を推進 〔卵殻印字機の整備 (株) J A 東三河 GP センター〕</p> <p>・貝毒検査実施(7 回)、プランクトン調査(20 回)</p> <p>・県内 J A で扱う農産物について、市場出荷農家や産直農家が使用した肥料・農薬などの生産履歴の記帳徹底</p> <p>・畜産物の自主認証のしくみ「はぐくみ自慢」開始(19. 11～)</p>	<p>【農林水産部】</p> <p>【農林水産部】</p> <p>【愛知県農業協同組合中央会】</p> <p>【名古屋勤労市民生活協同組合】</p>

<p>[生産者と一緒に 100 の品質指針を作成]</p>		
<p>○ 飲食店や食品販売店等に対する衛生指導等</p>		
<p>・食品衛生法の遵守状況に重点を置いた監視指導実施(61,531 件 19.12 末現在)</p>	<p>【健康福祉部】</p>	
<p>○ 食品と医薬品の相互作用に対する普及啓発</p>		
<p>・健康食品について、医薬品との相互作用等についての講演会を実施している。</p> <p>・「母と子の健康支援セミナー公開講座」開催(19.6.14 名古屋市) 参加者：100 名 [P.13 参照]</p> <p>・「くすりと食品の相互作用」作成・配布(19.9.27～30 「なごや食フェスタ 2007」(入場者 800 名)</p> <p>・「病態から見る健康食品－影響と相互作用－」第 3 版出版 配布先：「第 40 回東海薬剤師学術大会」(19.12.3 四日市市 500 部)、愛知県薬剤師会会員(2,800 部)</p>	<p>【愛知県医師会】</p> <p>【愛知県薬剤師会】</p> <p>【愛知県薬剤師会】</p> <p>【愛知県薬剤師会】</p>	